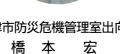
言わば親子か親戚関係的な存在で

消防本部と防災危機管理室は、

防本部と本庁との違いです。

## 出向者 派遣





職務で作業服を着ると、妙に落ち着 も自分の首を絞めるようなネクタ いて、そんな時は消防という自分の イは、未だ性に合いません。 時々、 からスー ツに変わりましたが、 どう 機管理室で勤務をしております。 職場での服装は、消防の活動服 平成十八年四月から津市防災危

町の山腹崩落事案など、市民の平 る震度五弱を記録した地震や中村 生しました。 このような災害が起 穏な生活を脅かす事案が次々と発 において、三重県中部を震源とす 処理事案、また今年に入り、市内 経とうとしていますが、 この間に 松線の落石事故、不発弾(焼夷弾)の は、半田地内の陥没事故、JR名 こる都度、つくづく感じるのが消 根っこ」を感じます。 あれから、早や一年と二ヶ月が

ています。

災体制を強化していきたいと考え 確な対応ができるよう、今以上に防

指導事業、防災は支援事業といっ また、消防本部には実働部隊とし ありません。 て消防署がありますが、 たふうに本質的な違いを感じます。 事業内容で見ると、消防は 後者には

が最重要であります。この合併を機 ためには、「安全・安心な街づくり」 津市をより住みよい街にしていく に、有事の場合、市全体で迅速・的 急対応こそが、市民に対し行政の最 もないのが現実です。このような緊 民サイドから見た場合、一刻の猶予 ますが、これがなかなか難しく と協議が必要となります。 大のサービスだと確信しています。 刀不足を痛感した一年でした。 市 害対応の場合の調整は緊急を要し 何事においても関係部局との調整 多様に分かれている事務所管は、 違だけでなく、 本庁における多種 このように、合併し大きくなった この機動力における決定的な相 特に災

いものがたくさんあり 物の中にも、 ごく普通に使っている は、生活必需品として び掛けます。 る火災事故の防止を呼 練を行い、危険物によ する特別査察や消防訓 私たちの身の回り 燃えやす

週

のなどがあります。 ど危険物以外で、取り されているものや、 取り扱いが厳しく規制 灯油・シンナー などの 扱いに注意を要するも ンロ用ガスボンベ、マ フレー缶、カセットコ 髪料・殺虫剤などのス 危険物で、 法令でその 一キュア液、接着剤な これらの危険物など

危

危険物は、 正しい取り扱いを!

をもっています。

この機会にみなさんのご家庭も

です。 までは危険物安全週間 六月三日から九日

間中、危険物施設に対 当消防本部では、

間

ます。

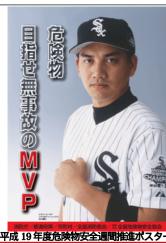
例えば、ガソリン・

険

## 取り扱い上の注意 に注意して下さい。 危険物チェックを行い、 な鍋や鉄板を使わない。 気の近くで使わない。 カセットコンロには、大き たばこを吸いながら使わ ストーブやコンロなどの火 取り扱い



所から遠ざける。また直射 場所を避ける。 日光が当ったり、 しない場所に保管する 地震で倒れたり、落ちたり 保管場所は火気を使う場 必要以上に買いだめをし 高温となる



中村町の山腹崩落現場

発を引き起こす危険性

した火種で、火災や爆 は、いずれもちょっと